

新潟県新発田地域振興局長賞

社会保障の制度について

新発田市立 川東中学校 3年 加藤 千桜 さん

私が、税について、気になったことは、社会保障の制度についてです。

私が、この社会保障の制度について、気になった理由は、私の実体験にあります。私がかぜをひいて、病院で診察をしてもらった後、お薬をもらう時に、毎回同じ値段になるからです。熱がでて、お薬をもらう時と喉が痛くて、お薬をもらう時など、毎回同じ値段になるのが、不思議に思いました。不思議に思ったので、私の父親に聞いてみました。聞いてみたら、「子どもの時は、そうなの」と、くわしいことまでは、言ってくれませんでした。私は、どういシステムで、お薬をもらう時、同じ値段になるのか、ずっと気になっていました。

まず、社会保障の制度とは、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の四つの柱で構成されている、国民、一人一人の安心や私たちの生活を支えるセーフティネットのことです。十九世紀までは、病気や貧困は自己責任で、社会や国が助ける必要はないという考えが一般的でしたが、けがや病気、失業などは自分でさけられず、備えるにも限界がありました。このようなことを対処するために、生まれたのが、社会保障の考えでした。社会保障の基礎がつくられたのが、一九六一年で、つい最近できた制度で、もっと昔からあるものだと思っていたのでビックリしました。私が、不思議とと思っていた、お薬の値段が同じなのは、社会保障の一つの医療保険によるものだとわかりました。医療保険は、社会保障の制度の四つの柱のうち、社会保険に含まれるものです。医療保険とは、病気やケガで治療が必要になった際の経済的な負担を軽減する仕組みです。医療保険の他にも、年金制度や介護保険などがあります。こんなにも、保険の種類があることを、初めて知りました。

また、社会保障は、一番、国の税金が使われていて、全体の三分の一を占めています。

私たちが、安心安全に生活できている理由に、社会保障があるからだと思います。社会保障があると、病気やケガで治療が必要な際、少しの負担だけで高額な値段にならないなどの、良い点があることがわかった。逆に、社会保障がないと、病気やケガ、失業や高齢者、障害者など、生活する上で不利になってしまう人々が、社会から切り捨てられてしまうのだろうかと思いました。私は、まだ日本の税金のシステムをよくわかりませんが、今回税について知っていくと、私の身近なところや知らないところで税金が使われていて、税金について、もっと知りたいと思いました。そのために、ニュースや新聞などの税について、かかっているものを見てみようと思いました。